

平成27年度県立水戸桜ノ牧高等学校常北校自己評価表

目指す学 校像	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校として新たな歴史を刻み、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。			
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況	
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の面では、少人数習熟度別授業やチームティーチング等でのきめ細かい指導を通して、学習意欲及び理解度の向上が図れた。 ・生徒指導の面では、登下校時や昼休み等の校外巡視の実施により、生徒指導事故が減少した。全体として授業態度を始めとして、落ち着いた学校生活が送れている。 ・進路指導の面では、景気停滞の中で、就職希望者の決定率100%を達成した。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫をさらに進めて、基礎学力の定着度を上げ、より多くの達成感を生徒に与える。 ・1年生の1学期からの部活動加入をさらに奨励することにより、部活動の活性化を図る。自転車・バイクの乗り方や公共マナーを指導する。 ・3年間を見通したキャリア教育をさらに充実させ、早期から進路意識を涵養する。 ・学習・特別活動・部活動等あらゆる活動から生徒の積極性を伸ばす工夫が必要である。 	1	学力の向上と定着	① 創意工夫を凝らした教材研究や教員相互の積極的な授業研修等を通じて、よりよい授業を展開する。 ② シラバスを活用して学習意欲や学習態度の喚起を図り、継続的・計画的な学習をさせる。 ③ いばらき学力向上推進事業や少人数習熟度別授業を有効に活用し、基礎学力の向上及び定着を図る。	
	2	基本的な生活習慣の確立	④ 頭髪・服装指導や遅刻防止の指導を徹底して、基本的な生活習慣を確立させる。 ⑤ 登下校時や授業開始・終了時、校内での挨拶を徹底させる。 ⑥ 年3回の計画的な面談や家庭訪問、スクールカウンセラーとの連携等を通して生徒理解に努める。	
	3	希望する進路の実現	⑦ 3年間を見通した計画的なキャリア教育を実践する。 ⑧ キャンパス・職場見学、インターンシップ、各種説明会等により進路意識を高揚させる。 ⑨ 学力向上と定着の取り組みや資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を目指す。	
	4	特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	⑩ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。 ⑪ 生徒の部活動への積極的な参加を促して、望ましい人間関係づくりと充実した放課後になるように活動させる。 ⑫ 自他の生命を尊重し、他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。	
	5	地域から信頼される学校づくりの推進	⑬ ホームページや地域広報誌、学校新聞等のPR手段を十分に活用して、保護者・地域に対し、積極的に本校の情報を発信、提供する。 ⑭ 学校評議員や近隣中学校等の意見を取り入れ、地域と連携した教育活動を展開する。 ⑮ 学校公開を計画的に実施して、本校に対する地域の理解促進を図る。 ⑯ 25年度からの分校化に伴い、分校としての特長を活かしながら地域との連携を図る。	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題
教科指導	学力の向上と学習意欲の	創意工夫を凝らした教材研究や少人数編成授業、シラバスの活用、良さを引き出す適切な学		

	喚起	習評価, わかりやすい授業の研究・展開等によって, 生徒の学力を高めるとともに学習意欲を喚起する。①②③		
国語	基礎的な国語力の習得	基礎的な漢字・語彙を反復練習して基礎学力を身に付け, 自分のもので応用できる国語力を育成する ①②③		
	読書習慣の習得	読書する楽しみを身に付け, 自らの読書体験から感性を豊かにし, 様々なものの見方, 感じ方を知り, 豊かな人生を歩める基礎を育成する。 ①②		
	作文の基礎的な表記の習得	基礎的な文章を表現する知識を学び, 自分の考えや意見を正しく表現できる力を育成する。 ①②		
地歴・公民	地理・歴史についての基礎的事項の理解の徹底	地図帳を歴史の授業でも使用し, 世界や日本の地理に親しませ, 地理や歴史の基礎的事項の理解を深め定着を図る。 ①③		
	現代社会の諸問題への興味・関心の喚起・解決についての考察	現代社会の基礎的な事項を学ぶとともに, 新聞を読んだり, 時事問題の視聴覚教材を活用することで現代の諸問題への関心を持たせ, 意見・感想等を書くことにより, 主体的な解決の方法について考えさせる。 ①②③		
数学	基礎計算力の定着	授業で基本的な計算演習を繰り返し行うことにより, 計算力の向上と定着を図る。 ③		
	問題解決力の向上	数学の解法を学習する過程において, 問題を解決するための論路的思考を体験させ, 問題解決力の向上を図るとともに応用力を身に付ける。 ①②		
理科	観察・実験の充実	観察・実験を行い, 顕微鏡や実験器具の基本的操作を身に付けさせる。また, 実験の事後指導の時間を確保し, 学習内容との関連を深め内容の定着を図る。 ①		
	基本的内容の充実	生徒の学力に応じてプリント学習や計算練習, 小テストを取り入れて基礎学力向上を図り, 生徒の科学に対する理解を深めさせる。 ①		
	生徒の興味・関心を引き出す授業の展開	最新の自然科学に関する記事や情報を数多く紹介することにより, 生徒の自然科学に対する興味・関心を引き出す。 ①		
保健体育	健康の保持増進と危険回避能力育成	健康や安全に関する課題に直面したときに, 科学的な思考と正しい判断に基づく意志決定や行動選択を行い, 適切に実践できるような資質や能力を養う。 ①		
	体力の向上	自己の体力や身体能力を知り, 考えながら補強運動を実践することができるようにする。 ①		
	応急手当と心肺蘇生法の習得	RICE等の様々な応急手当を身につける。心肺蘇生法の実習を行い, 自ら進んで応急手当が実行できる技術を養う。(AED救命講習を含む) ①		
音楽	音楽を愛好する心情の育成	音楽に取り組むために必要な読譜力を向上させ, より積極的に音楽に親しみ, 取り組む態度		
	感性の向上, 創造的な表現と鑑賞の能力の伸長	様々な楽器の奏法や作曲法・発声法を学んだり, 音色や楽曲の美しさを感じ取らせることで, 感性を豊かにし, 創造的な表現能力を伸ばす。 ③ 楽曲から作曲者の人生や作品の時代的背景を学び, 総合的に鑑賞を行い, 創造的な鑑賞能力を伸ばす。 ③		
英語	コミュニケーション能力の育成	4技能を総合的・有機的に関連させた指導を実践して, 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに, その能力の向上を目指す。 ①②③		
	基本的な語彙及び文法事項の定着	基本的な語彙及び文法事項の指導を継続的に行い, 英語による言語活動の基礎づくりを進める。 ①②③		
	指導計画の工夫改善	英語を使ったわかりやすい授業を実践するために, 指導計画の工夫と改善に努める。 ①②③		

科	家庭	基礎的・基本的な知識・技術の習得	日常生活に必要な基本的な知識を習得するとともに、実験・実習を通し、基礎的・基本的技術を習得する。 ①③		
		検定の実施による知識・技術の向上	食物技術検定4級の受検学習を通して、基礎的な知識・技術を習得する。また、フードデザイン選択者については、3級を受検し、更なる知識・技術の向上を目指す。 ①③⑨		
	情報	情報を活用する実践力の育成	Word, Excel, PowerPointといった一般的な事務処理ソフトウェアの基本的な知識・技能を習得し、マルチメディア・インターネット・ネットワークを活用できる実践力を育成する。 ①		
		情報社会における望ましい態度の育成	著作権や情報モラル等の情報倫理を身に付け、コンピューターやインターネットを利用する際のマナーを高める指導を展開する。 ①		
	商業	検定試験による技術習得	全商ビジネス文書実務検定試験、全商電卓実務検定試験の学習を通し、必要な技術や能力を習得させる。 ①⑨		
		ビジネスへの関心の喚起	新聞、視聴覚教材等を活用し、ビジネスへの関心を高める。 ①		
	総合的な学習の時間	進路意識の高揚と規範意識の育成	外部講師による進路ガイダンスや面接指導を積極的に採り入れて、個々の生徒の進路実現に向けた方策を計画的に実施する。また、社会規範の基となる規律やマナーを学び、健全に社会生活を送る自覚を育てる。 ④⑦⑧		
	道徳	マナーの修得と自他を大切にすることの育成	自他の生命や人権を尊重し、思いやりの精神を持たせるとともにマナーの必要性を自覚させる。さらに、外部講師の活用や多くの講話を通して、将来社会の一員として自覚を持った行動ができるよう、公共心を育む。夢を育み、自己実現に向けて努力する心を養う。 ⑫		
教 務 (含 渉外)	授業時間の確保	授業実施時間数の確保に常に留意するとともに、特編時間割の運用を工夫する。 ①②③			
	観点別評価の更なる推進	観点別学習状況評価の実施を、学校や生徒の特性に応じて工夫しながら推進する。 ①②③			
	公開授業の実施	計画的な公開授業を行って、地域への情報発信及び教員研修の機会を増やす。 ①⑬⑭⑮⑯			
	学年や各部との連携	教育活動の円滑な運営のために、学年・部・教科との連携に絶えず努める。 ①⑩			
	充実したPR活動の継続	地域広報誌や校内新聞、ホームページ等を利用して、学校に関する情報の効果的な発信を継続する。 ⑬⑭⑮⑯			
	水戸桜ノ牧本校との連携 効率的なPTA組織とその運営	水戸桜ノ牧本校との日程調整等を確実にし、齟齬のない学校運営に配慮する。 ⑬⑭⑮⑯ 分校化に伴う規模の縮小を踏まえて、より効率的なPTAの組織づくりと運営を目指す。 ⑬⑭⑮⑯			
生徒指導 (含 特別活動)	基本的生活習慣の育成	早朝校内外立哨指導や校内巡視及び生徒による挨拶運動等により挨拶の励行を図る。 ④⑤⑭			
		H R・生徒面談・集会を通し、時間や規則を守ることなどの規範意識を高揚させる。(遅刻・欠席の防止) ④⑤⑥			
		頭髪・服装指導の徹底と規則の遵守(喫煙等生徒指導事故の防止)。 ④⑥			
	交通安全教育の推進	自転車・バイク安全点検と安全運転の徹底。交通安全講話の実施と公共マナーの指導。校外立哨指導の充実。 ⑤⑭			
	部活動の充実	部活動加入率の増加を図る(1年生1学期間の全員部加入の実施)。 ⑪			
学校行事の円滑な運営	ツールド常北・クラスマッチ・体育祭などの行事の円滑な運営と充実に努める。 ⑤⑩				
	進路意識の喚起	進路講演会・進路ガイダンス・マナー講習等を通して、自分の将来について自ら選択し準備する力を育成する。 ⑦			

進路指導	基礎学力の向上	各種検定試験，就職，進学試験の合格を目指し，朝のトレーニングタイム等を充実させて基礎的な力を習得させる。⑦⑨		
	面接指導の徹底	進路決定に向けて自己表現の仕方，挨拶マナーを習得させる。⑦		
	インターンシップの充実	2年時において進路選択のためにインターンシップを体験させる。⑦⑧		
保健厚生	保健管理・保健指導の充実	健康診断の結果を基に自身の健康について考えさせ，生活習慣を見直させる。④⑫ 日頃から担任，学年等と連携し，スクールカウンセラーを活用した「こころの健康」の管理に努める。⑥⑫		
	健康で安全な学校環境の整備・美化	ゴミの分別等について啓発活動を行い，意識の高揚を図るとともに，環境美化に努める⑩⑫ 日頃から施設設備の安全を確保するとともに，救急処置等の保健指導の中で生徒の危機管理能力を養う。⑫		
	地域と連携した防災教育の推進	地域と連携した防災講話・避難訓練を実施し，震災などの非常時に適切な行動がとれるようにする。⑩⑫⑭		
	奨学金制度の積極的な活用	必要としている多くの生徒が活用できるよう積極的に呼びかける。⑬		
第3学年	基本的生活習慣の確立	遅刻カードの利用により，遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。学校生活全体を通し，挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。HRや授業，生徒指導部と連携しながら，指導の徹底を図る。④⑤⑥		
	基礎学力の向上と進路指導の徹底	「LHR」や「総合」を活用し，外部講師による進路ガイダンスや面接指導を積極的にとり入れて，各自の進路希望実現のために必要な情報等の認識や意欲を高めさせる。少人数授業や課外，「朝のトレーニングタイム」を有効に活用し，各自の進路に適應できる基礎学力向上を図り，進路指導部と連携を深めながら，全員の進路決定を目指す。①⑦⑧⑨		
	リーダーシップの育成	最上級生であることを自覚し，毎日の学校生活や学校行事，部活動を通じて社会生活でも活用できるリーダーシップを育む。⑩⑪		
第2学年	基本的生活習慣の確立	遅刻カードの利用により，遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導や朝のSHRを通し，挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。HRや授業，生徒指導部と連携しながら，指導の徹底を図る。④⑤⑥		
	基礎学力の向上	授業および朝のトレーニングタイムに意欲的に取り組むことにより，学習習慣を身に付けさせ，基礎学力の向上を図る。教科担当者と連携し，指導の徹底を図る。④⑨		
	進路意識の喚起	進路ガイダンスの充実，インターンシップを行うことにより，生徒の進路意識を高め，将来への目標の明確化を図る。⑦⑧		
	豊かな心の育成	修学旅行及びその事前学習を通し，平和への願いや自然の豊かさに触れることにより，豊かな心を育む。 アサーション演習やマナー講習会を通し，他人に対する思いやりの心や礼儀の大切さを学ばせる。LHRの時間や学校行事等を通し，友情や自他を大切にすることを育む。④⑥⑫		
第1学年	基本的生活習慣の確立	朝のSHR等で，挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促すよう指導を徹底する。 遅刻カードの利用を徹底し，遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。④⑤		
	基礎学力の向上	「朝のトレーニングタイム」や朝読に意欲的に取り組むことにより，基礎学力の定着・集中力の向上を目指す。授業中に教室巡視を行い，授業に取り組む姿勢を身に付けさせる。②③		

進路意識の喚起	担任による面談等で個別対応を適切に行い、進路ガイダンスや進路情報を道德の授業と連動させながら生徒の進路意識の向上を図る。 ⑦⑧		
豊かな心の育成	ソーシャルマナー演習・異文化体験・コミュニケーションスキルアップ演習等を通して、他人に対する思いやりの心や礼儀の大切さを学ばせる。LHRや道德の時間を通して、友情や自他を大切にする心を育む。 ⑤⑩⑫		

※評価基準： A＝大変良く達成できた。 B＝よく達成できた。 C＝普通である。 D＝やや不十分 E＝不十分